



報道機関 各位

記者発表資料

令和元年12月3日(火)

問い合わせ先：青少年宇宙科学館

館長：富田 英雄

担当：田中・松井

電話：048-881-1515

教育長が市民の前で「宇宙のまち さいたま」を宣言しました！

令和元年11月30日(土)、青少年宇宙科学館で開催した「宇宙のまち さいたま」記念フォーラムにおいて、細田眞由美教育長が市長、議長をはじめ約300名の市民の皆様の前で、高らかに「宇宙のまち さいたま」を宣言しました。

また、本フォーラムにおいて、「宇宙のまち さいたま」を推進するために策定した『宇宙のまち さいたま』教育プロジェクト』をはじめて発表しました。

さらに、「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ津田 雄一 氏をコーディネーターとして、若田宇宙飛行士アカデミー修了生が「宇宙のまち さいたま」をどのように推進していくかなどについて、パネルディスカッションを行いました。

記

1 「宇宙のまち さいたま」宣言の内容

さいたま市教育委員会では、宇宙や科学に関する教育を柱として、宇宙時代をたくましく生き、未来を創造する人材を育てるため、「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトを策定し、ここに「宇宙のまち さいたま」を宣言します。

令和元年11月30日

さいたま市教育委員会

教育長 細田 眞由美

2 「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクト

「宇宙時代」の到来を見据え、目指す人間像や身に付けたい資質能力などの教育理念等と、宇宙や科学に関する約1,000にのぼる講座や教室などの教育プログラムを、STEAM教育を柱に総合的・体系的に整理・統合したアクションプランから構成されております。

本プロジェクトを推進することにより、宇宙時代をたくましく生き、未来を創造する人材を育成します。

3 「宇宙のまち さいたま」パネルディスカッション

- ・テーマ：「みんなで創る『宇宙のまち さいたま』」
- ・コーディネーター：津田 雄一 氏
- ・パネリスト：さいたま市在学・在住の中学生 5名
(若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース修了生)

・パネルディスカッションの具体

- 宇宙時代とは、どんな時代か
- 自分が宇宙時代をたくましく生きるために、これから何が必要か
- 「宇宙のまち さいたま」に何が必要か

・パネルディスカッションの様子

将来宇宙飛行士になりたいなど具体的な夢や志をもった5名の中学生が、「宇宙のまち さいたま」の未来について熱く語り合いました。

具体的には、宇宙に関するイベントの開催や教育の充実、宇宙に関する施設の建設など、夢のある「宇宙のまち さいたま」を語ってくれました。津田先生からは、パネリスト一人ひとりの考えについて、宇宙に関わる専門家の視点から貴重なアドバイスいただきました。パネリストにとって、自分たちの未来を考えるよいきっかけとなり、大変有意義なパネルディスカッションとなりました。

4 記念講演会

講師：JAXA「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ
JAXA宇宙科学研究所 准教授 津田 雄一 氏
演題：「はやぶさ2 そして未来へ」

はやぶさ2が、小惑星りゅうぐうにタッチダウンする様子や、人工クレーターをつくった瞬間をとらえた映像などを用いて、はやぶさ2の成果等と、プロジェクトマネージャとして大切にしている「困難を乗り越えるチームワークづくり」などについて御講演いただきました。

質疑応答では、多くの小学生から、「自分と同じ小学校3年生の頃の夢」や、はやぶさ1と比較しての専門的な質問などが飛び出し、津田氏は、鋭い質問に驚きながらも、一人ひとりに丁寧に対応してくださいました。

5 その他

「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトや当日の写真のデータ、津田氏と子どものやり取りなどの記録がございますので、遠慮なくお問い合わせください。